



カフェ・オレンジ通信

アシスト21・ひまわりセンター
認知症支援・介護予防センター

〒802-8560 小倉北区馬借一丁目7番1号
総合保健福祉センター(アシスト21)5F
TEL.093-522-8765 FAX093-522-8773

第7号
平成28年10月15日
発行: 認知症・草の根
ネットワーク

SOSネットワーク交流会、オレンジカフェ交流会を開催しました!

SOSネットワーク交流会

現在市内で、認知症高齢者の行方不明を想定した模擬訓練に取り組んでいる10団体(地域・事業所)と年度内開催に向けて準備中の2団体にご参加頂きました。各団体のプロフィール紹介の後、不明者発生の現状をお話しし、その後参加の皆さんが6班に分かれて「なぜやってみようと思ったか?」「実施にあたり気になること」「次はどうする?地域の中でどうSOSネットワークを作っていく?」といった話題でおよそ1時間グループ討議をしました。

- ① 自治会などの地域、施設、市民センター等、最初に「やりましょう」と呼びかけたところは様々だが「模擬訓練は福祉のまちづくり」。安心してずっと暮らせる、思いやりのあるまちを目指したい。
- ② 子どもの参加があると、家族が一緒に出てくるし、他の参加者が元気をもらおう、次の世代に認知症のことを知ってもらえる素晴らしい効果もある。しかし、対組織での参加のお願いが難しい場合もある。
- ③ 認知症の学習を継続していくことが大切。模擬訓練が途絶えないようにスローガンを決めて取り組んでいる。
- ④ イベント化しないように、回を重ねるとともに、地域の中のつながりを深めていく必要がある。一人暮らしの男性にもぜひ参加してもらいたい。

様々な意見を頂きましたが、皆さん言われたのは、実施地域の連携、近隣の連携の大切さです。行方不明になる方は、決まったエリアの中だけに留まるわけではありません。仕組みづくりの上でも、それぞれの地域が培った知恵や技を共有することができれば、よりよい対応が各地で可能になります。2011年5月、小倉南区で発生した田中利行さんの行方不明を受けて、2012年から始まった北九州市の模擬訓練。一度実施したところは、異口同音に「次は・・・」と話されます。また来年の新しいご報告を楽しみに散会しました。ご参加の皆さん、ありがとうございました。

オレンジカフェ交流会

北九州市の認知症カフェモデル「カフェ・オレンジ」がオープンしてやがて半年になりました。地域の中でも事業所の皆さんが牽引役となり、15箇所のオレンジカフェ(認知症カフェ)が開設されています。今回はカフェ運営に取り組んでいる事業所や病院の皆さんにお集まり頂き、現状と課題を共有しました。

事業所の皆さんは、地域の方にもう少し参加頂けるといいと願いながら、情報発信の場、誰でも気軽に集える場、いろいろな分野からの情報交換を目指して奮闘しています。ディスプレイとの違いも意識して運営しています。

お昼ごはんを提供したり、ハンドマッサージなどのイベントを行う、出すものをちよっとおしやれに演出してみたり・・・と工夫も随所に感じられます。

皆さんが問題視しているのは、「施設」や「認知症」に対する拒否感が「何となく」あること。認知症への理解が進み、地域包括支援センターや自治会、市民センターなどともうまくつながり、子どもたちも出入りするようになる場所になれば「事業所」から「みんなの居場所」へと周りの意識も変わってくるはず。

時間がかかる地道な「地域事業への協力」をどんどんしていこうという声も聴きました。

オレンジカフェの展開は、まだ始まったばかりです。お話を伺いながら、「カフェ・オレンジ」の課題と重なる部分を感じました。事業所の横のつながり、なかなか集いの場に出てこない男性が参加したくなるようなプログラムの工夫、そして、地域に「カフェ」を運営する事業所が普通にある社会が当たり前になるように一緒に進んでいきましょう。



模擬訓練！長崎自治区会、牧山市民センター、足原校区、田原校区

9月から10月にかけて、認知症高齢者の行方不明を想定した模擬訓練が各地で開催されましたので、ご紹介いたします。皆さんお疲れ様でした。ありがとうございました。

長崎自治区会（八幡西区）



出発前に声のかけ方を熟演する、「いきいき」の皆さん

「まちの中を線路が走る高齢の地域だから、取り組む必要がある！」JR東海の列車事故の裁判を受けて立ち上がった会長さん。その思いを受け止めた地元の実業所「いきいき」さんとのコラボが運営を支え、3回目の実施となりました。

牧山市民センター（戸畑区）

「シジジバアバを探せ、こどもレスキュー隊」は戸畑区初の模擬訓練。いつもお世話になっているシジジを子どもたちがウオークラリー形式で探しました。山坂の多い地形ですが、放課後の活動にもかかわらず、元気いっぱいの子どもたち。支える地域の皆さんの「次代を担う子どもたち」への温かさを随所に感じる取り組みでした。シジジを見つけた班は、大きな「ありがとうカード」を大切に抱えて、市民センターに戻ってきました。



「ありがとうカード」がとっても嬉しい！

足原校区（小倉北区）

2回目の今回は、不明者への「声のかけ方」を課題の中心にすえました。不明者役は地理に詳しいコーディネーターと2人一組で時間いっぱいエリア内を歩いて、参加の皆さんの「声かけ体験」に協力しました。雨天でも参加多数の温かい訓練でした。

不明者役に出会い、お声かけ体験中です。

予 告

平成29年1月29日(日)午後
「認知症・北九州大会」を
カフェ・オレンジで開催します！

第11回もり・フォーラム (認知症まちなかフォーラム)



「ご本人が「思い」を語る
「本人と家族の集い」。和やかに進み、笑顔がこぼれ、歌の披露まで！楽しい時間を共有しました。

黒崎のMOYAI ステーション96cafe と熊手商店街一帯で開催されました。認知症サポーター養成講座や模擬訓練の紹介があり、商店街ではご本人が買い物や食事を楽しみ、懐メロを歌い、花にふれ、介護相談コーナーもありました。

反省会で参加中の学生に感想を話してもらいました。若い人が次代への架け橋です。



「カフェ・オレンジ」で若い女性のカフェ・マスターさんを見かけたことがありますか？
実は一人の学生さんが、卒業論文執筆のために運営に参加しながら、他のマスターさんや来場の皆さんとお話しをお聴きしているのです。若さという素晴らしい力が、カフェ自体を元気にしているし、人懐こい二人は、既にカフェ・マスターさんたちのアイドルです。
今は、卒業論文の追い込みで、過酷な毎日のようで、母(婆?)世代の私は、心の中で密かに「健康に気をつけて」とエールを送っています。晴れて完成し、担当の先生のOKを頂いた暁には、ぜひ「カフェ・オレンジ」で発表会を！と考えています。関心のある方、その節はぜひ「来場下さい。」(ま)

閑話休題

カフェ・オレンジの運営にご協賛頂き、ありがとうございます



- ・北九州市食生活改善推進員協議会様
- ・北九州市婦人教育推進会様
- ・わかば会様
- ・おきなのだ 金丸勝利様
- ・小倉中央健康くらぶ様